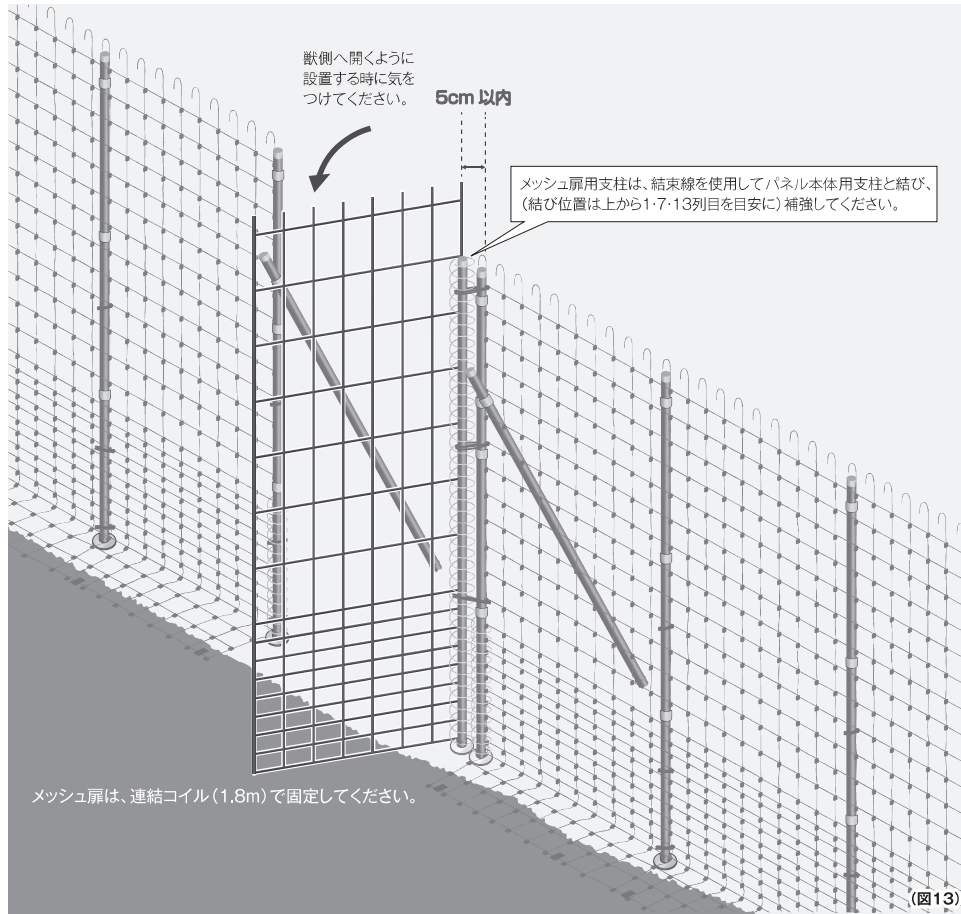


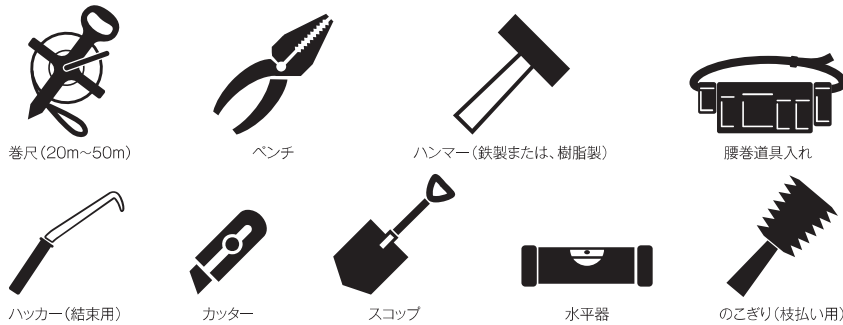
メッシュ扉を設置する場合

13. パネル本体を設置してある柱との距離が5cm以内の場所にメッシュ扉用の柱を打ち込んでください (図13)



(図13)

軽々ブラウン柵を施工する際に必要な道具

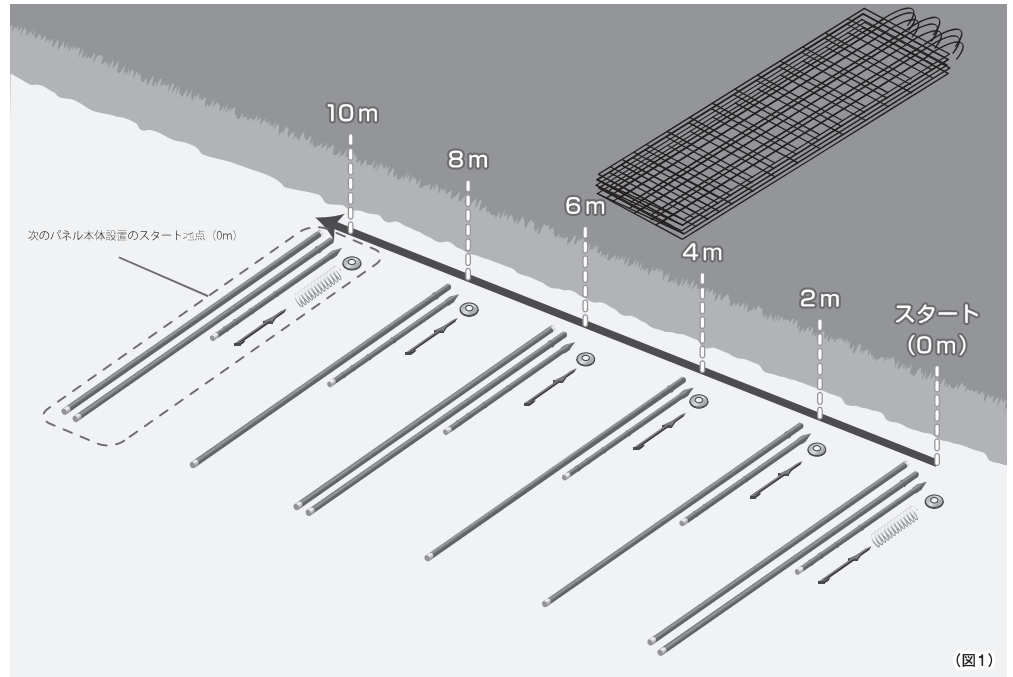


上記道具を準備してください。怪我や事故がないよう、十分に気をつけて施工してください。

# 軽々ブラウン柵 施工手順書

1. 軽々ブラウン柵 設置予定場所付近に草木がある場合、作業性・設置後の管理等を考慮しあらかじめ伐採してください。(設置予定場所が斜面の場合、獣の侵入を防ぐ為ある程度距離を離してください。)

2. 支柱設置場所を測り、線出し・割り付けをしてください。(図1)

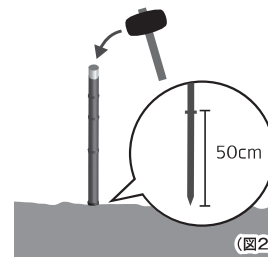


(図1)

【用意するもの】

- |     |   |
|-----|---|
| 敷地外 | ・軽々ブラウン柵 パネル本体  |
| 敷地内 | ・打ち込み支柱<br>・ワッシャー<br>・かぶせ支柱<br>・ワンタッチクリップ<br>・アンカーピン<br>・控え支柱 (スタート4m又は6m地点)<br>・コイル小 (50cm) (0m地点) |

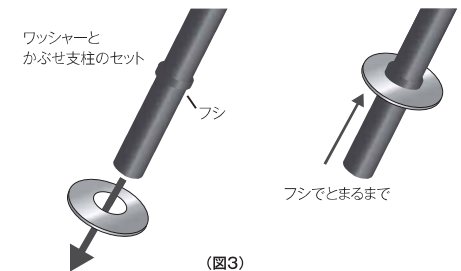
3. 打ち込み支柱を、ハンマーを使って打ち込みます。(図2) あらかじめ金テコ等で仮穴を開けておくと、施工しやすいです。



(図2)

パネル本体同士の連結の際、多少の調整が必要になる為、10m 地点などの連結部の柱は8m 地点のパネル本体の施工が終了するまでは打ち込まないでください。

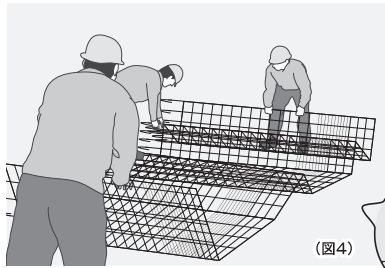
4. 打ち込んだ打ち込み支柱へ、ワッシャー+被せ支柱をセットします。(図3) セットの際、ワッシャーを被せ支柱先端のフシまで通してください。



(図3)

5. 敷地外でパネル本体を広げ、地際の折り返し部分を折り曲げます (図4) (図5)  
 製網の都合により、端部に絡んでいる箇所があるため、**2人以上**で展開してください。  
 (※展開する際は、パネル本体の端部分の絡んだ箇所を外しつつ展開してください。)

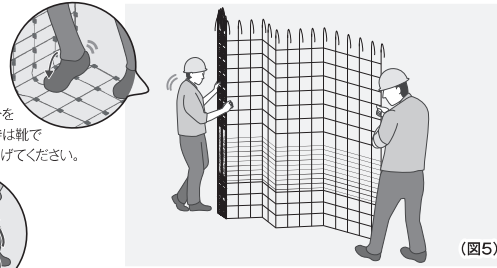
広い場所の場合



(図4)

パネル本体を寝かせて少しずつ展開してください。

狭い場所の場合



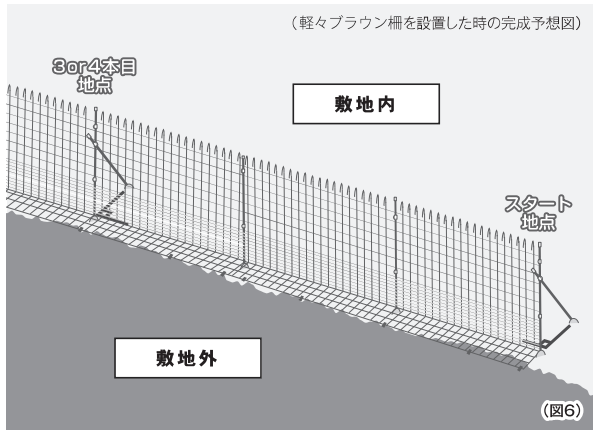
(図5)

パネル本体を立てたまま屏風が開くイメージで少しずつ展開してください。

折り返し部分を折り曲げる時は靴で踏んで折り曲げてください。



6. 支柱に控え支柱を取り付けます。  
 スタート位置と、4m又は6m地点へ取り付けてください。  
**スペースのある場合は**柱に対になるよう、**直角**に打ち込んでください。(図6)



(軽々ブラウン柵を設置した時の完成予想図)

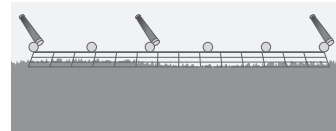
敷地内

敷地外

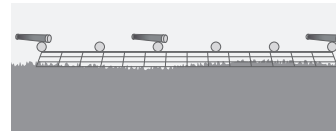
(図6)

【上から見た図】

狭い場所の場合 斜めに打ち込んでください。

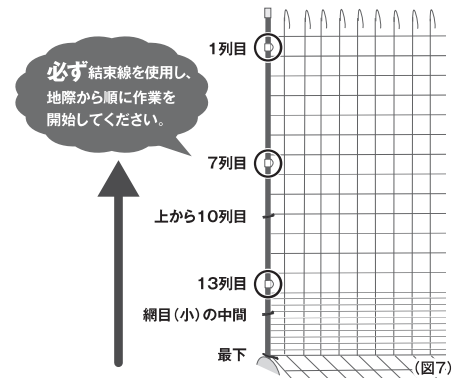


更に狭い場所の場合 横に打ち込んでください。



柱に直角に打ち込んだものが耐久力の一番ある角度になります。角度が小さくなるにつれ、耐久力は弱まるので注意してください。

7. スタート位置の支柱へパネル本体を固定します。(図7)  
 結束線、ワンタッチクリップの順に使用して、固定をしてください。固定箇所は図7を参考にしてください。



必ず結束線を使用し、地際から順に作業を開始してください。

1列目

7列目

上から10列目

13列目

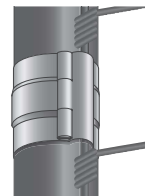
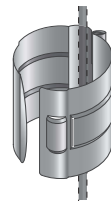
網目(小)の中間

最下

(図7)

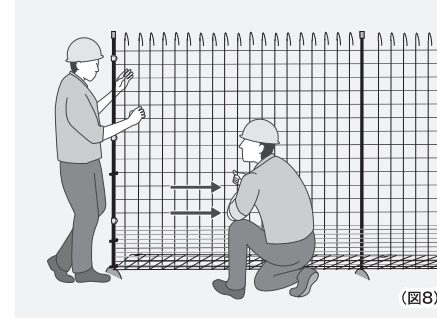
ワンタッチクリップ

パネル本体の縦線を通す膨らみがあります。パチンと音がしたら取り付け完了です。ワンタッチクリップは、パネル本体の上から1・7・13列目の網目に取り付けてください。



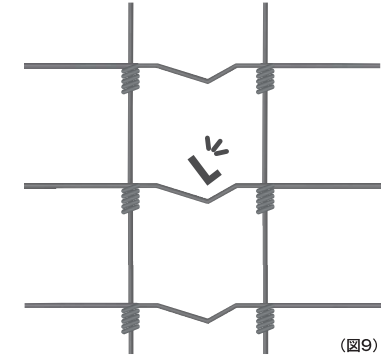
網目の中間をねらって固定をしてください。上下どちらかに寄りすぎるとうまくはまらない場合があります。

8. 2本目の支柱へパネル本体を固定します。  
 必ず結束線を使用し、**地際**から作業を開始してください。  
 地際固定の際、固定していない方向へしっかり**引っ張って**から固定してください。(図8)  
 スタート位置から5本目まで繰り返します。



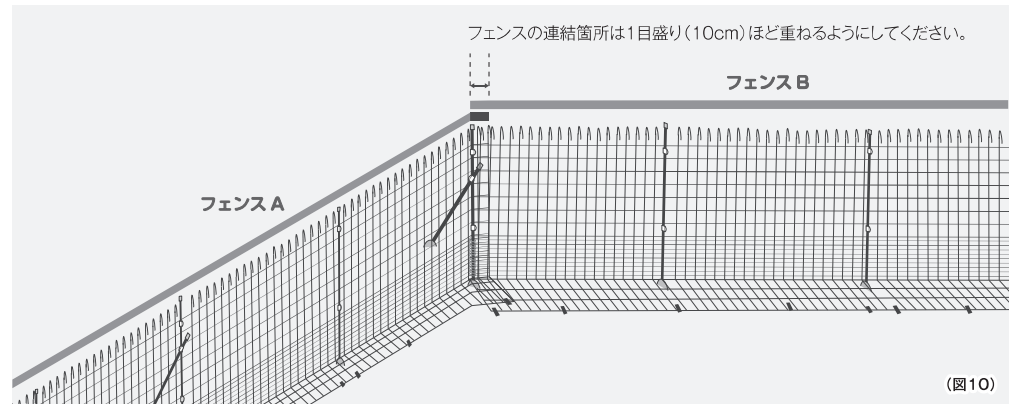
(図8)

9. たるんだ部分の調整。  
 パネル本体 展開設置後 たるんでいる部分についてはペンチなどでL字に曲げて調節することをお勧めします。



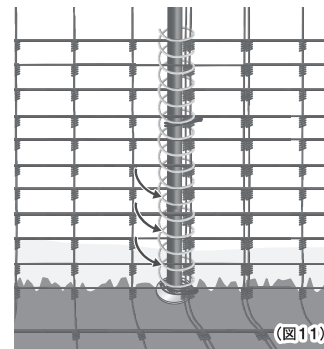
(図9)

10. 柱間隔2mの場合、8m(5本目)まで固定が完了後、残り部分を伸ばし、次のパネル本体のスタート地点を決めてください。(図10)  
 6本目(次のパネル本体のスタート位置)を位置決めする前に打ち込むと、長さが足りなくなる場合があります。

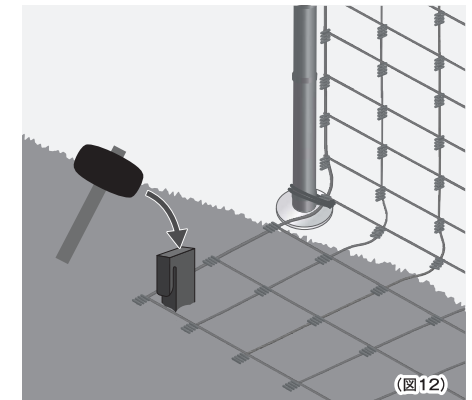


(図10)

11. パネル本体の接続は、連結コイル(小)を使用し、支柱の上部から通します。(図11)  
 パネル下部の網目が細かい(5cm目盛り)部分の網目を**必ず**通してください。



(図11)



(図12)